

芸術

教 科	科 目	単位数	履修年次・選択群	履修区分
芸術	美術探究	2	3年次・L1群	自由選択
使用教科書（出版社）		副教材（準備するもの）		履修の条件・連絡
なるほどデザイン (株式会社エムディエヌコーポレーション)		(グリップ付き軍手)		自由選択 美術系の進学希望者は履修が望ましい。

1 科目の目標と評価の観点

目 標		
(1) 視覚的な伝達効果や、美的な造形性と機能性について理解を深めるとともに、専門的な技能を身に付ける。 (2) 表現及び鑑賞に関する造形的な思考力、判断力、表現力等を育成する。 (3) デザインの可能性を追求する態度を養う。		
評価の観点及びその主旨		
1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
視覚的な伝達効果や、美的な造形性と機能性について理解を深めるとともに、専門的な技能を身に付けている。	デザイン分野の表現及び鑑賞に関する造形的な思考力、判断力、表現力等を身に付けている。	日常の中のデザインと深く関わり、デザインの可能性を追求する態度を身に付けている。

2 学習計画と観点別評価項目

学 習 の 年 間 計 画	学期	学習内容（単元・項目）		月	学習のねらい	評価の観点
	1 学 期	デザイン	1 デザインの基礎 (1) デザインとは (2) コンセプトとは (2) デザインと色	4	・デザインの役割や要素を理解する。 ・デザインを考案する原点である、制作意図について学ぶ。 ・配色の効果について	1 3 1 3 1 2 3
			2 オープンスクールのポスターデザイン (1) コンセプトの整理とデザイン (2) PC で制作 (3) 中間批評会 (4) 仕上げ	5	・ターゲットや目的を整理し、デザインの基本となる着眼点に基づいて、伝えたい内容や対象などについて整理する。	1 2 3 1 2 3
				6	・文字の配置、構成、配色など、創造的な表現の構想を練る。	2 3
				7	・著作権について理解する。 ・相互批評を行い、自他の作品のよさや課題を明らかにする。	1 2 3
学 習 の 年 間 計 画	2 学 期	デザイン	3 生活の中のデザイン (1) 小刀の使い方 (2) 木目について (3) スプーンのデザイン (4) 制作	9 10 11	・道具や材料の基本的な特性を理解する。 ・道具としての作品の目的や用途との調和のとれた美しさを目指し、デザインの構想を練る。 ・鋸や小刀、やすりを使用し、デザインの通りに丁寧に制作する。	1 3 1 3 1 2 3 1 2 3
			(5) 使用感の確認・自己評価	12	・実際に使用しみることで、機能面や使用感、美しさとのバランスを自己評価する。	2 3
			(6) 相互鑑賞	1	・それぞれがデザイン、制作したスプーンを相互鑑賞し、自分や他者の見方や感じ方を理解する。	
学 習 評 価	観点	1. 知識・技能		2. 思考・判断・表現		3. 主体的に学習に取り組む態度
	規 準	○視覚的な伝達効果や、美的な造形性と機能性について理解を深めるとともに、専門的な技能を身に付けているか。		○デザイン分野の表現及び鑑賞に関する造形的な思考力、判断力、表現力等を身に付けている。		○日常の中のデザインと深く関わり、デザインの可能性を追求する態度を身に付けている。
	手 段	・制作の様子 ・ワークシート ・作品		・制作の様子 ・ワークシート ・作品		・制作の様子 ・ワークシート ・作品

令和6年度 シラバス

愛媛県立新居浜南高等学校

	単元末や学期末及び年次末における評価の総括方法	・ 作品や授業態度などと総合的に判断して評価する。 ・ 定期考査は行わない。
学習上の留意点	・ 定期考査は行わないので、積極的に授業に参加し、作品を必ず完成させること。 ・ 実習が中心であるので、完成するまで根気や集中力が必要である。	